



第 85 期 報 告 書

(2018年4月1日から2019年3月31日まで)

Sensor Innovation
北陸電気工業株式会社



株主の皆様へ

株主の皆様には平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社は2019年3月31日をもって第85期を終了いたしましたので、当社グループの

営業の概要ならびに決算につきましてご報告申し上げます。

当連結会計年度の概況

当連結会計年度の世界経済は、米国では個人消費を中心に拡大基調が続きましたが、中国では投資および個人消費が減速基調となり、欧州でも減速がみられました。

わが国におきましては、設備投資や個人消費を主体に緩やかな回復基調で推移しましたが、海外経済の弱含みにより、不透明感が漂ってきました。

そのような環境下、エレクトロニクス市場におきましては、自動車の電子化が進展したことから、電子部品需要は汎用部品を主体に拡大しましたが、秋口より、情報通信機器需要の停滞感が強まってきました。

こうした状況のなかで、当社グループ（当社および連結子会社）におきましては、拡販を図る一方、引続き生産効率の改善に努めました。

その結果、当連結会計年度の業績は、各品種総じて受注が増加したことから、売上高は45,034百万円（前期比+2.8%）、営業利益1,344百万円（同+5.1%）となり、米ドル高円安シフトに伴い為替差益236百万円を営業外収益に計上したことから、経常利益は1,564百万円（同+67.7%）となりました。

また、米国における集団民事訴訟の和解契約締結に伴い、訴訟和解金339百万円を特別損失に計上したことから、親会社株主に帰属する当期純利益は、776百万円（同△29.5%）となりました。

財政状態

（資産、負債および純資産の状況）

当連結会計年度末における総資産は、前連結会計年度末に比べ、売上債権およびたな卸資産が生産水準の上昇により

増加しましたが、現金及び預金が減少したことを主因に、148百万円減少し、40,491百万円となりました。また負債は、仕入債務が増加しましたが、借入金の減少を主因に、173百万円減少し、27,850百万円となりました。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、24百万円増加し、12,641百万円となりました。

うち、株主資本は、親会社株主に帰属する当期純利益により776百万円増加しましたが、剰余金の配当により251百万円減少したことなどから、523百万円の増加となりました。

また、その他の包括利益累計額は、その他有価証券評価差額金が180百万円減少し、アジア通貨安円高に伴い、為替換算調整勘定が367百万円減少したことを主因に、507百万円の減少となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当連結会計年度末における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ、3,831百万円減少し、4,004百万円となりました。

営業活動の結果使用した資金は、1,222百万円となりました。これは、税金等調整前当期純利益1,172百万円、減価償却費1,033百万円に対し、売上債権が3,847百万円、たな卸資産が417百万円、それぞれ増加し、仕入債務の増加は344百万円に留まったことが主因であります。

投資活動の結果使用した資金は、1,355百万円となりました。これは、固定資産の取得による支出887百万円などによるものであります。

財務活動の結果使用した資金は、1,318百万円となりました。これは、借入金の純減910百万円、配当金の支払い251百万円などによるものであります。

次 期 の 見 通 し

世界の景気動向は、米中貿易摩擦、英国のEU離脱など、先行きの不透明感が強まっています。

また、エレクトロニクス市場におきましても、携帯情報通信端末の成長が鈍化しております。

そのようななか、当社グループといたしましては、自動車の電子化、機器の高機能化、IoTなど技術革新が進む市場の変化に対応した取り組みに努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 多 田 守 男



連結財務諸表

■ 連結貸借対照表 (2019年3月31日現在)

(単位：百万円)

科 目	金 額
(資 産 の 部)	
流動資産	27,000
現金及び預金	5,257
受取手形及び売掛金	13,259
商品及び製品	1,443
仕掛品	2,828
原材料及び貯蔵品	2,533
その他	1,695
貸倒引当金	△16
固定資産	13,490
有形固定資産	9,344
建物及び構築物	2,585
機械装置及び運搬具	3,545
土地	2,921
その他	292
無形固定資産	388
投資その他の資産	3,757
投資有価証券	1,141
繰延税金資産	1,423
その他	1,386
貸倒引当金	△194
資 産 合 計	40,491

科 目	金 額
(負 債 の 部)	
流動負債	16,256
支払手形及び買掛金	7,601
短期借入金	6,575
未払法人税等	227
賞与引当金	404
その他	1,448
固定負債	11,593
長期借入金	5,895
リース債務	483
繰延税金負債	3
再評価に係る繰延税金負債	327
退職給付に係る負債	4,754
その他	128
負債合計	27,850
(純 資 産 の 部)	
株主資本	12,294
資本金	5,200
資本剰余金	5,038
利益剰余金	3,207
自己株式	△1,152
その他の包括利益累計額	339
その他有価証券評価差額金	△7
土地再評価差額金	685
為替換算調整勘定	△75
退職給付に係る調整累計額	△262
非支配株主持分	7
純資産合計	12,641
負債・純資産合計	40,491

(注) 記載の金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

■ 連結損益計算書

(2018年4月1日から2019年3月31日まで)

(単位：百万円)

科 目	金 額
売上高	45,034
売上原価	38,572
売上総利益	6,461
販売費及び一般管理費	5,117
営業利益	1,344
営業外収益	490
受取利息及び受取配当金	118
為替差益	236
その他	135
営業外費用	269
支払利息	102
損害賠償金	74
その他	92
経常利益	1,564
特別利益	20
固定資産売却益	0
保険解約返戻金	18
その他	1
特別損失	412
固定資産売却損	14
固定資産除却損	51
訴訟和解金	339
その他	7
税金等調整前当期純利益	1,172
法人税、住民税及び事業税	288
法人税等調整額	105
当期純利益	777
非支配株主に帰属する当期純利益	1
親会社株主に帰属する当期純利益	776

(注) 記載の金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

■ 連結キャッシュ・フロー計算書 (要約)

(2018年4月1日から2019年3月31日まで)

(単位：百万円)

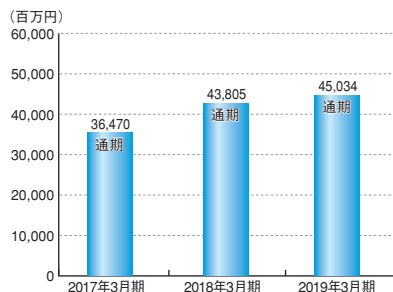
科 目	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前当期純利益	1,172
減価償却費	1,033
売上債権の増加額	△3,847
たな卸資産の増加額	△417
仕入債務の増加額	344
その他	492
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,222
投資活動によるキャッシュ・フロー	
固定資産の取得による支出	△887
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△204
その他	△263
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,355
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純減額	△1,163
長期借入金の純増額	253
自己株式の取得による支出	△1
配当金の支払額	△251
その他	△156
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,318
現金及び現金同等物に係る換算差額	64
現金及び現金同等物の減少額	△3,831
現金及び現金同等物の期首残高	7,836
現金及び現金同等物の期末残高	4,004

(注) 記載の金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

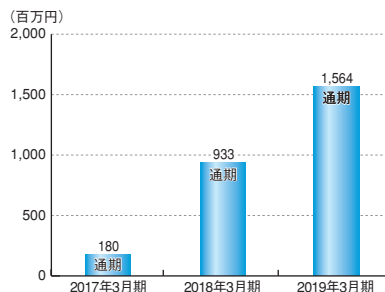


連結決算ハイライト

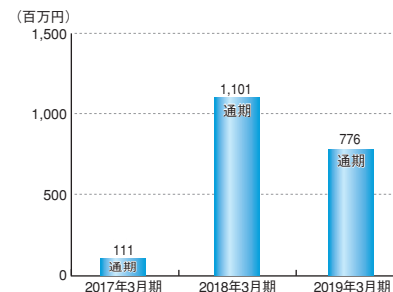
売上高



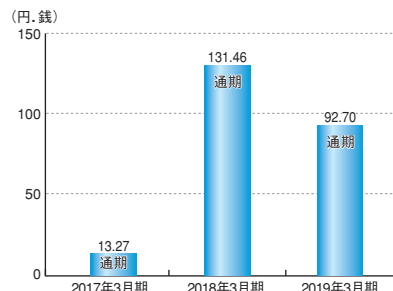
経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益

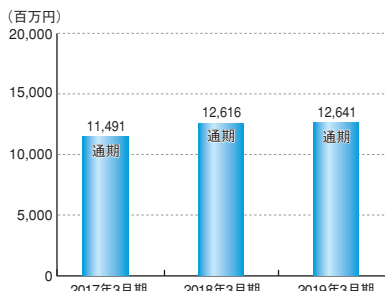


1株当たり当期純利益

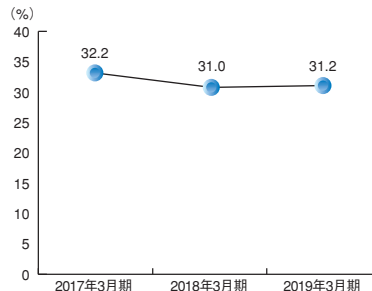


(注) 2017年10月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施いたしました。これに伴い、1株当たり当期純利益は、2017年3月期の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、算定しております。

純資産額

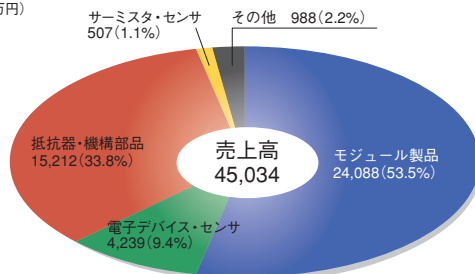


自己資本比率



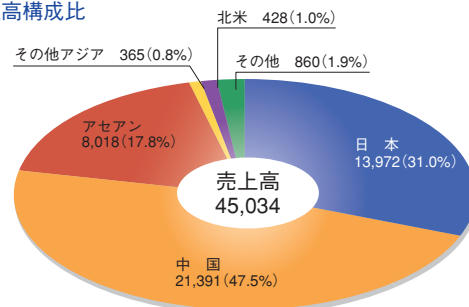
2018年度 製品分類別売上高構成比

(百円)



2018年度 地域別売上高構成比

(百円)



会社の概況 (2019年3月31日現在)

報告書 Hokuriku Electric Industry Co., Ltd.

株式の状況

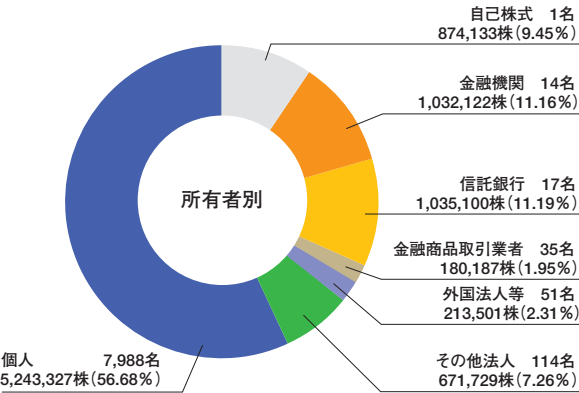
発行可能株式総数 25,000,000株
発行済株式の総数 9,250,099株
株主数 8,220名

大株主 (上位10名)

株主名	持株数
北電工取引先持株会	356 千株
株式会社 北陸銀行	331
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	290
北電工従業員持株会	272
株式会社 北國銀行	218
前田建設工業株式会社	164
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	153
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	146
株式会社 富山銀行	139
コーセル株式会社	112

(注) 1. 当社は自己株式874千株を所有しておりますが、上記大株主から除外しております。
2. 株式数は、千株未満を切捨てて表示しております。

所有者別分布状況



会社概要

社名	北陸電気工業株式会社
英文社名	HOKURIKU ELECTRIC INDUSTRY CO., LTD.
所在地	〒939-2292 富山県富山市下大久保3158番地
T E L	076-467-1111
F A X	076-468-1508
U R L	https://www.hdk.co.jp/
設立	1943年(昭和18年)4月4日
資本金	5,200百万円
事業内容	固定・可変・チップ等各種抵抗器、圧力・加速度・湿度等各種センサ、モジュール製品、ペーストスルーホール基板等各種電子部品の開発・製造・販売、その他の事業

取締役および監査等委員である取締役 (2019年6月27日現在)

代表取締役会長	津田信治
代表取締役社長	多田守男
常務取締役	谷川聡
常務取締役	下坂立正
取締役	小川明夫
取締役常勤監査等委員	山下進
取締役監査等委員	坂本重一
取締役監査等委員	北之園雅章
取締役監査等委員	菊島聡史

(注) 坂本重一氏、北之園雅章氏および菊島聡史氏は社外取締役であります。



製品紹介

■ 各種 センサ 群

車載用やIoT機器を中心として幅広い用途に使用されています。

【電流センサ】



小型電流センサ

小型低背で、低消費電流の電流センサを開発しました。取付け易いクリップ構造で、既存設備にも後付け可能です。太陽光発電のストリング監視システム等各種電流計測に最適です。

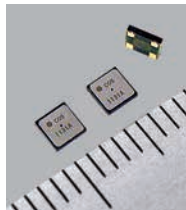
【自動車用センサ】



自動車用センサ

自動車用センサは、高精度であることに加えて厳しい環境変化にも十分機能することができるよう高い信頼性が求められます。当社では、これらのニーズに対応した各種自動車用センサをラインナップしております。

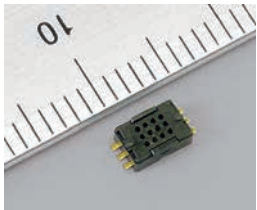
【気圧センサ】



小型気圧センサ

2.5mm角と業界最小クラスの気圧センサを開発しました。気圧計、気象モニタ、高度計、カーナビ、腕時計、HDD、部屋の開閉検知、更にはスマートフォンへの搭載等各方面への用途が見込まれます。

【超小型マイクロヒータ】



MEMSガスセンサ

MEMS技術を使用した省エネタイプの超小型マイクロヒータを開発しました。メンブレン構造で低熱容量設計（素早い立ち上がり）に加えて、高耐久性で長寿命設計となっています。更にこのマイクロヒータと他社とのコラボレーションにより、消費電力が従来比10分の1のガスセンサを開発しております。これにより、小型で低消費電力のアルコールチェッカの実現が可能です。

【フォースセンサ】



小型フォースセンサ(0~10N検知タイプ)



超小型フォースセンサ(0~5N検知タイプ)

小型・薄型で10N以下の微小荷重検知が可能なセンサです。小型低背、更に出力がリニアで使いやすく、荷重の微小変化や強弱が検知できるため、調理家電やスタイラスペン等各種アプリケーションに対応可能です。

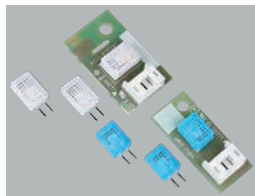
【圧力センサ・圧力センサモジュール】



圧力センサ・圧力センサモジュール

ピエゾ抵抗式の半導体圧力センサです。センサ単体の他、水位検知、ガス圧検知等の各種圧力センサモジュールをラインナップしています。中でも水位センサモジュールは、ミリメートル単位の検知が可能で非常に高精度であり、またアナログ出力、デジタル出力タイプを取り揃えており、更に取り付けタイプも基板取付けタイプ、フランジねじ取付けタイプを用意し、洗濯機や食器洗い機、エコキュート等各種水位センシングのニーズに対応しています。

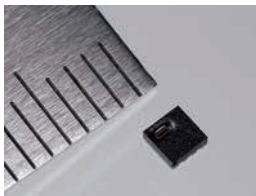
【抵抗式湿度センサ】



抵抗式湿度センサ

快適な生活空間に欠かせない湿度センサ。当社の抵抗式湿度センサは、1986年よりエアコンや除湿機、事務用機、更には自動車等各種用途向けに幅広く使用されており、高い実績と信頼性を得ています。

【容量式湿度センサ】

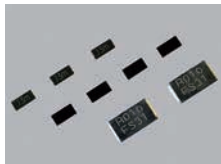


容量式湿度センサ

従来から実績のある抵抗式湿度センサに加え、新たに2mm角と超小型サイズの容量式湿度センサを開発しました。抵抗式では計測が困難であった0%RH~100%RHの広範囲の計測が可能です。従来用途に加え、スマートフォンやウェアラブル端末用、更にはIoT機器に幅広く使用することができます。

■ 高付加価値チップ抵抗器

〔金属板抵抗器〕



金属板抵抗器

電流計測用のチップタイプの金属板抵抗器です。数mΩの超低抵抗まで製造可能です。パソコンの周辺回路、バッテリーパック、車載用等に使用可能です。

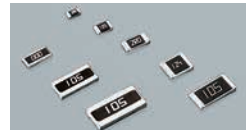
〔耐サージ形高電力チップ抵抗器〕



耐サージ形高電力チップ抵抗器

独自の素材、構造によってサージ耐圧、耐パルス性に優れたチップ抵抗器です。従来同サイズ品に比べて定格電力が大きく車載用として最適です。

〔JAXA認定チップ抵抗器〕

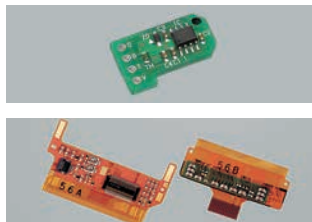
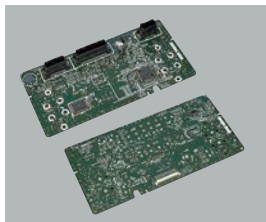


高信頼性チップ抵抗器

JAXA認定の宇宙用の高信頼性チップ抵抗器です。

■ 主要製品

〔モジュール製品〕



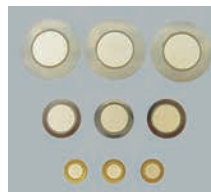
各種電子回路機能モジュール

先端実装技術を駆使したモジュール製品。従来からの民生用液晶モジュールに加え、車載液晶モジュールや自動車用メーターパネル等の各種車載用モジュールを拡大するとともに、白物家電、ヘルスケア等各種分野へ幅広く展開しております。

〔高周波部品・圧電部品〕



無線モジュール



圧電振動板



圧電サウンダー・スピーカ

IoTのキーテクノロジーである無線通信技術。当社では、無線センサモジュールをはじめ、各種用途向けの特定小電力無線モジュールを用意しております。また、独自の圧電材料技術、積層技術により生み出される圧電部品は、車載用や民生用に幅広い分野で使用されております。

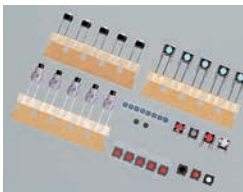
〔各種チップ部品〕



各種チップ部品

スマートフォンや車載電装品、生活家電等の製品に欠かせない各種チップ部品。当社では0402サイズの超小型チップ抵抗器の他、チップネットワーク抵抗器、チップ半固定可変抵抗器、また電流検出用チップ低抵抗器、耐硫化チップ抵抗器、耐サージチップ抵抗器、高電力チップ抵抗器（長辺電極チップ抵抗器）等の高機能チップ抵抗器、チップヒューズ、チップタクトスイッチ等各種チップ部品を取り揃えております。

〔機構部品〕



タクトスイッチ

電向けの防水タイプ、更にはスマートフォン、タブレット端末用の小型SMD品等各種タイプをラインナップしております。

〔ペーストスルーホール基板〕



銀・銅ペーストスルーホール基板

ますます電子化が進展する自動車。当社のペーストスルーホール基板は、民生用電子機器の他、自動車のメーターパネル用としても使用されております。



HOKURIKUグローバルネットワーク



株式事務のご案内

□ 報告書

Hokuriku Electric Industry Co., Ltd.

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
一単元の株式の数	100株
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711（通話料無料） 受付時間 月～金 9:00～17:00（土・日・祝日を除く） 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部
公告の方法	電子公告により行います。 公告掲載URL https://www.hdk.co.jp/ ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

【お知らせ】

株券電子化によるご注意

1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 配当金の口座振込のご指定につきましても、お手続きは配当金振込指定書を各口座管理機関を経由してお届けいただくこととなりました。従来同封いたしておりました当社専用の「配当金振込指定書」は同封を取りやめております。振込指定のお手続きにつきましては詳しくは各口座管理機関にお問い合わせください。
4. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

ご 案 内

INFORMATION

記載の連結財務諸表等の詳細につきましては、当社のホームページのIR情報の決算情報にてご覧いただけます。



<https://www.hdk.co.jp/>



北陸電気工業株式会社

〒939-2292 富山県富山市下大久保3158番地 TEL.076-467-1111 FAX.076-468-1508
3158 Shimo-okubo, Toyama-City, Toyama Pref. 939-2292, JAPAN



この冊子は植物性インキを使用し、環境にやさしい「水なし印刷」を採用しています。